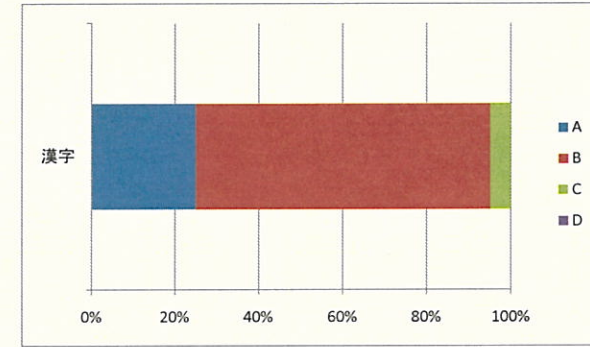
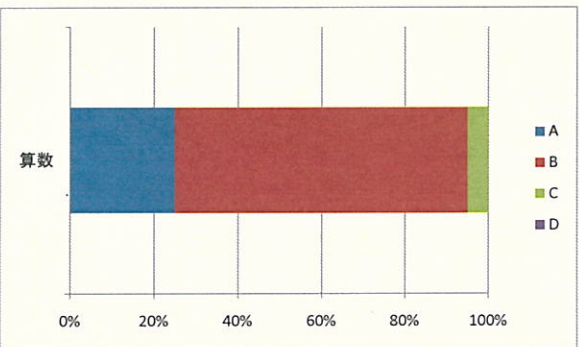
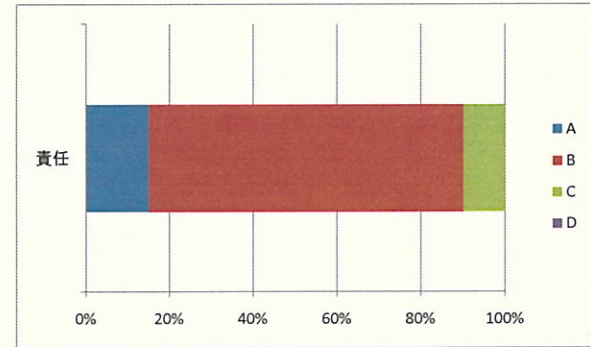
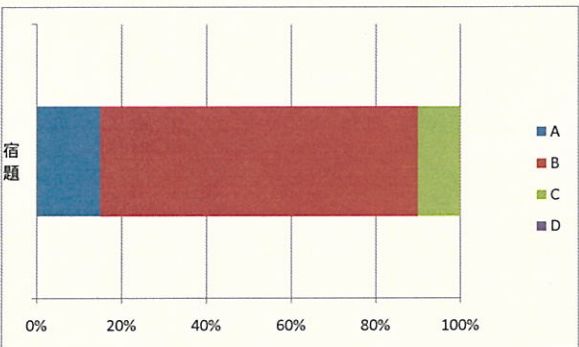
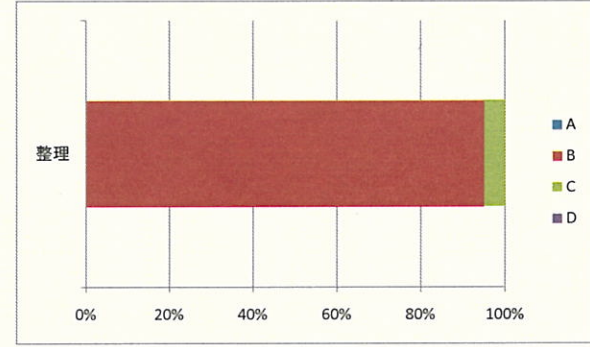
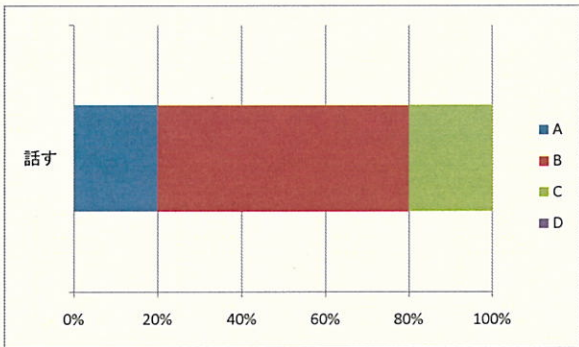
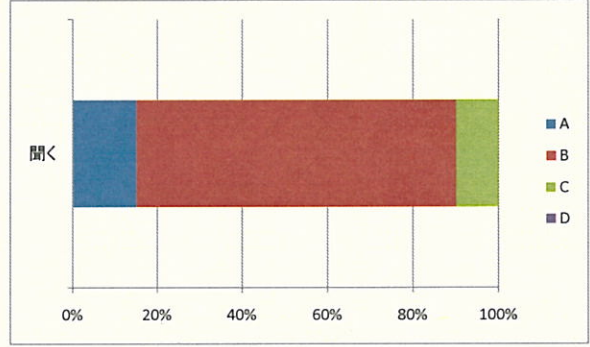
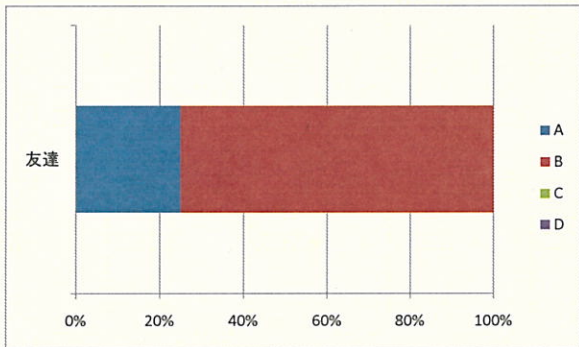
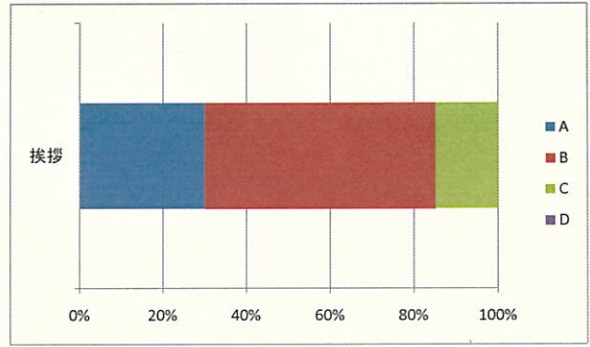
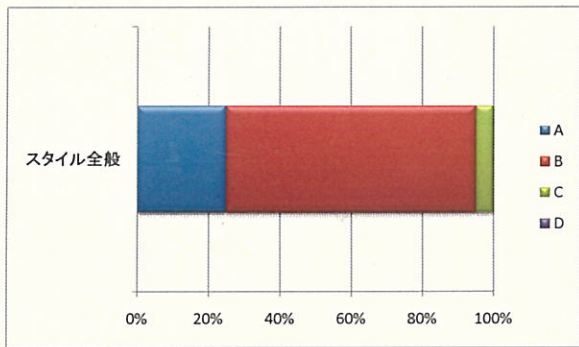
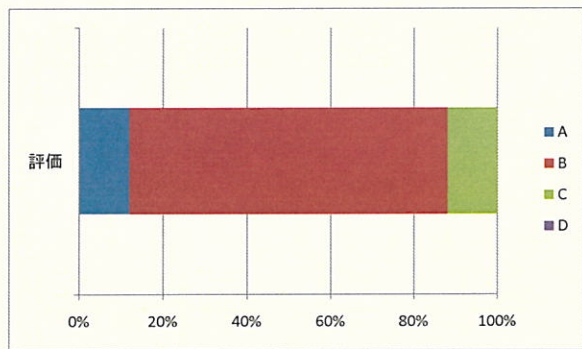
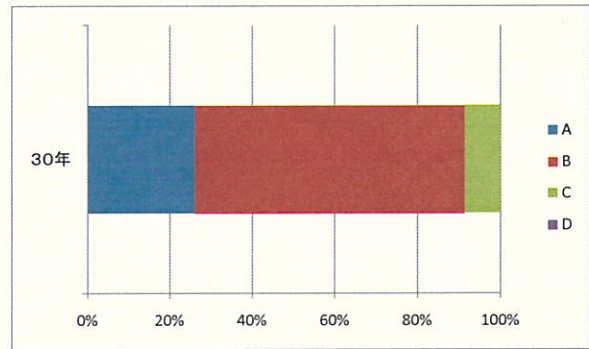
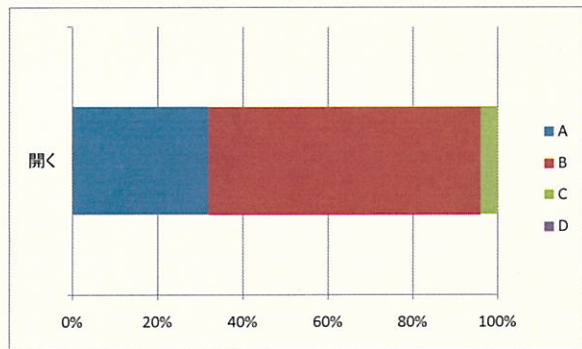
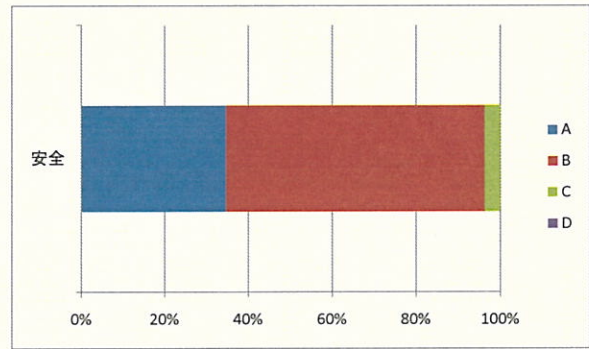
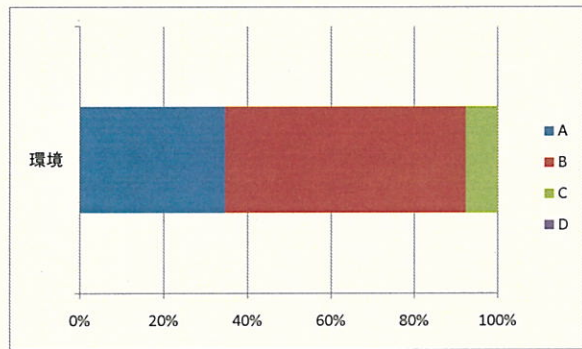
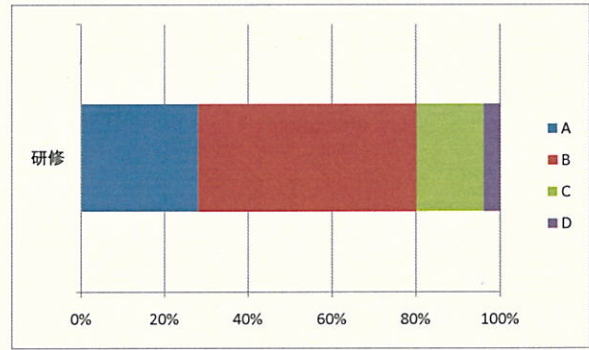
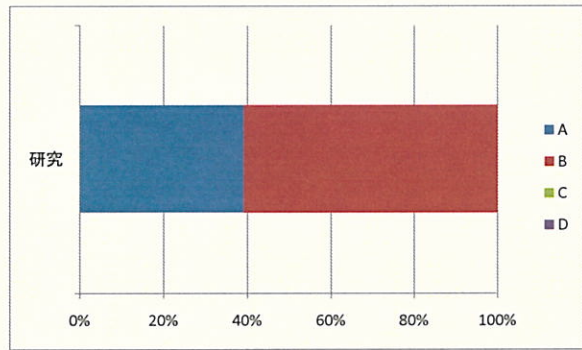
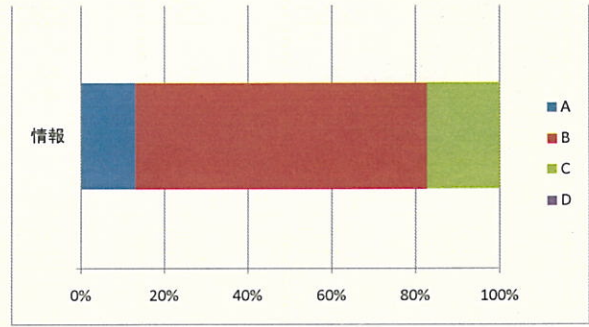
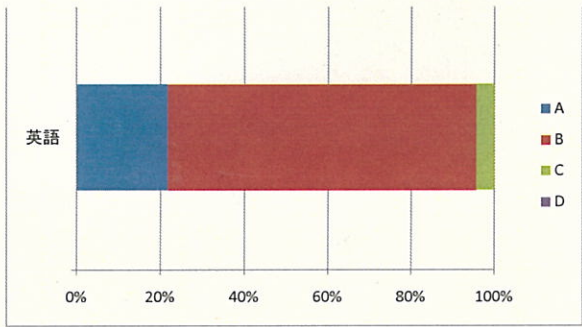
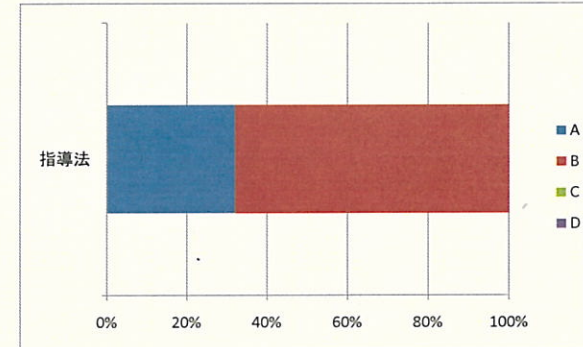
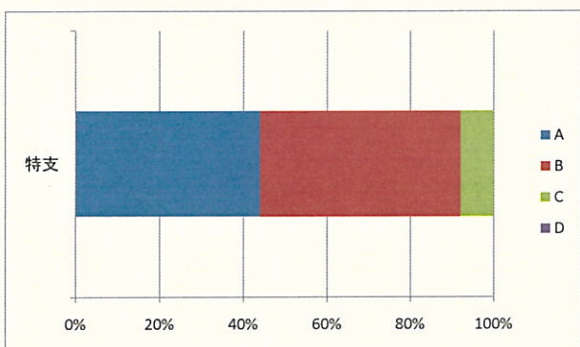
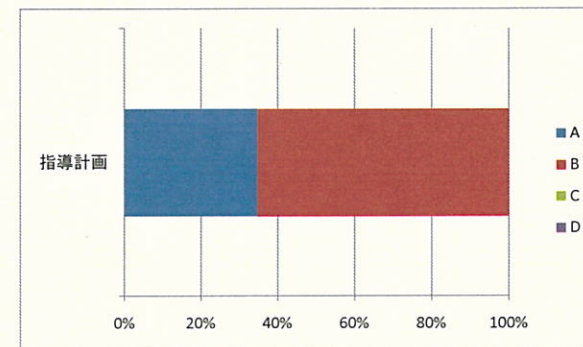
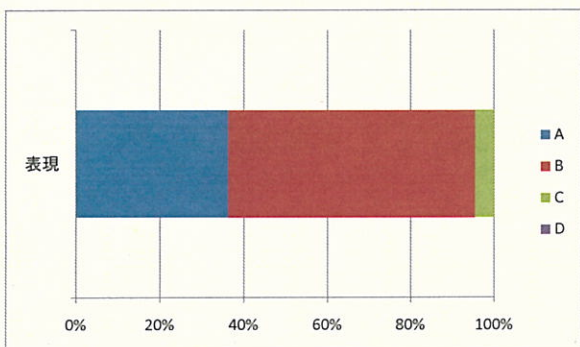
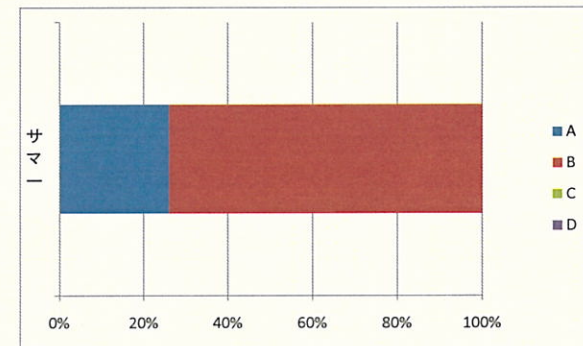
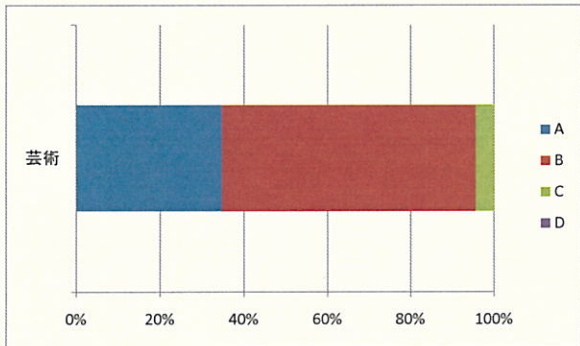
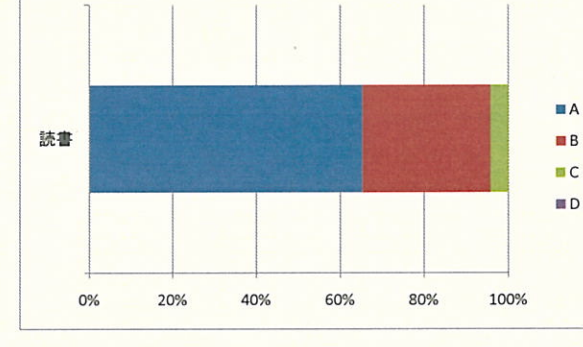
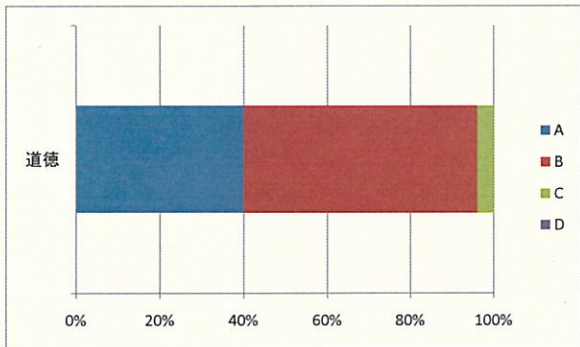
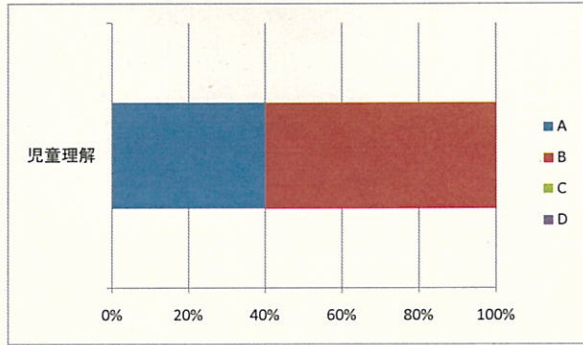
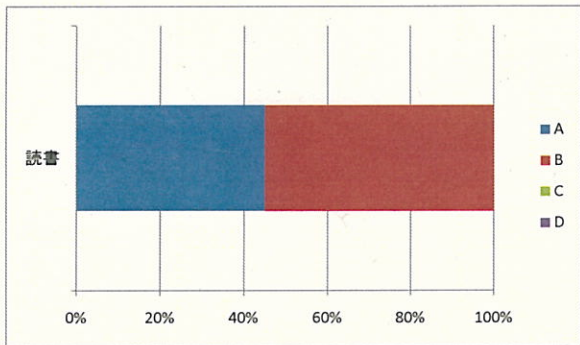


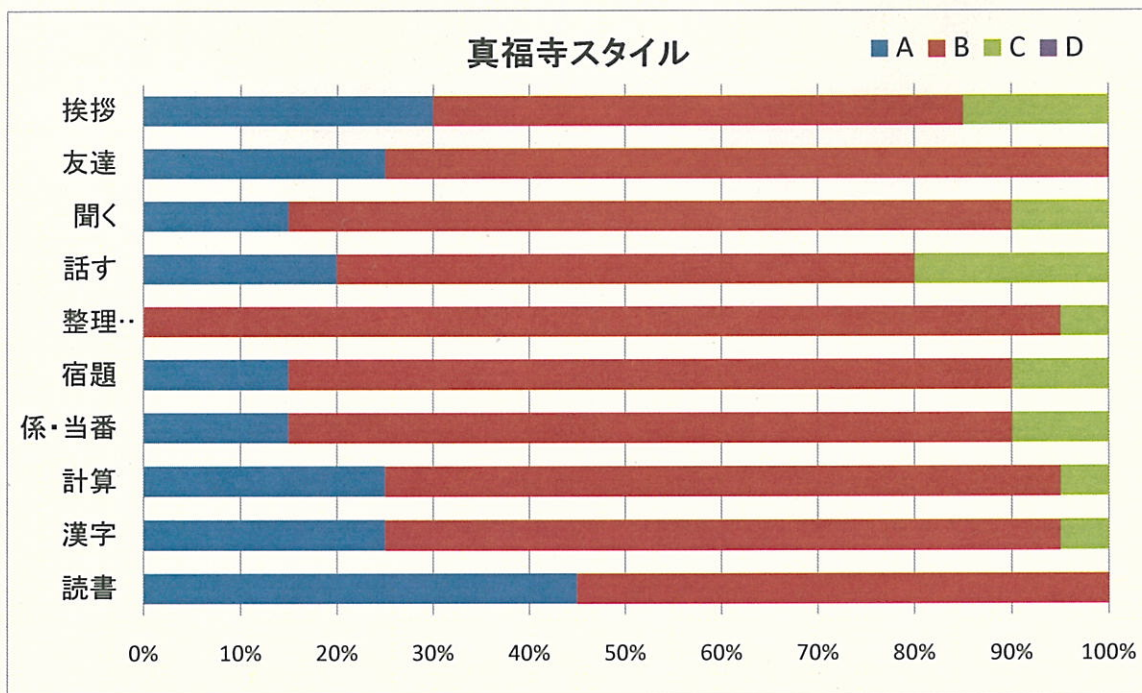
学校教育目標		真真剣に進んで学習する子 福みんらの幸福を願い仲良く助け合う子 じ心身ともに丈夫で実力のある子			
学校経営目標		確かな学力、豊かな心と体力を育む教育を目指します			
重点	評価項目	具体的な取り組み	評価		
子ども 力向上の プロジェクト	真福寺 スタイル	取組	学級経営に真福寺スタイルが生かされるよう取り組んだ	A B C D	
		挨拶する姿勢が身についた	A B C D	友達と仲良く学校生活を送る。	A B C D
		人の話をきちんと聞くことができる	A B C D	意見や考えを的確に話すことができる	A B C D
		身の回りの整理整頓ができる	A B C D	宿題や提出物がきちんとできる	A B C D
		係や当番を責任もって行うことができ	A B C D	算数の基礎的な計算ができる	A B C D
		漢字の読み書きができる	A B C D	進んで読書を行うことができる	A B C D
子ども の 心育	児童理解	共感的理解・個性尊重	子どもの心情や言動を共感的に理解し、個に応じた指導支援を行う。	A B C D	
	徳育	人権教育・道徳教育	学校生活の中で、人権感覚や道徳心、規範意識が育つように取り組んだ。	A B C D	
	心の育成	読書活動	読み聞かせ活動を行う等、読書教育の充実を図った。	A B C D	
		芸術活動	音楽・体育等の専門家からの指導を受け、芸術活動への興味関心を育む。	A B C D	
		サマーチャレンジ	専門家や外部講師を活用する等、体験的な学習活動を行うことができた。	A B C D	
表現活動	「作品展」「ふれあいまつり」では子どものアイデアを大切にしたい取り組みをした。	A B C D			
先生 力向上 プロジェクト	教育計画	学習指導計画	確かな学力を育成するため、基礎・基本に重点を置いた学習指導をすすめる。	A B C D	
		支援教育	支援を必要とする子どもの教育的ニーズに応える体制づくりを推進する。	A B C D	
	指導法	指導法の改善	・わかる授業、楽しい学習を実現するために指導法の改善を行う。 ・児童ひとりひとりの学習状況を把握して、実態に応じた指導方法を行う。	A B C D	
		英語活動	外国人講師と共に、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。	A B C D	
		情報教育	・ICTを活用し、わかりやすい授業や効率的な校務処理を行った。 ・学習活動で児童がICTを活用するなど、情報活用能力の育成に取り組んだ。	A B C D	
	研究	校内研究	研究テーマの実現を目指し、研究授業や研究協議に熱心に取り組んだ。	A B C D	
	研修	教員研修	資質向上に向け校内や小教研、センターの研修に自主的・積極的に取り組んだ。	A B C D	
環境	環境美化	校舎内の美化に努め、明るく、温かい雰囲気の内環境づくりを進めた。	A B C D		
おまちが 町の プロジェクト	安全・安心	安全安心への取り組み	教職員、保護者や地域の方々が協力して子ども達の安全を見守る。	A B C D	
	開かれた 学校	ふれあいまつり・給食	ふれあいまつりや交流給食で保護者や地域とのふれあいを深めることができた。	A B C D	
	周年行事	30周年	30周年に向けての準備に取り組みを進めている。	A B C D	
	学校改善	学校評価	自己評価シートや授業参観感想シートを使い、学校評価活動を積極的に行った。	A B C D	

★A・・・とても思う B・・・どちらかというと思う C・・・どちらかというと思わない D・・・まったく思わない









結果から見えてきたこと

真福寺スタイルと子どもの姿は？

全体的に子どもたちの姿がよい方向に向かってるとらえてる。特に昨年度に比べて、あいさつの習慣・友達関係・責任感などの項目について、しっかり身につけていないというC・D評価が非常に少なくなった。また、聞くこと・話すことのA評価が増えている。校内研究の成果といえる。

また、算数の計算や漢字の読み書きなどについては、昨年とあまり変化が見られない。各学年とも取り組んでいると思うが、成果が見られないともいえる。しかし、漢字練習や計算だけが国語や算数学習の基礎基本とは言えない。この項目だけでは、基礎基本の定着がはかかれていないと言い切れないと思う。

子どもの瞳は輝いているか？

読書活動、芸術活動の項目で向上が見られる。外部講師の方々にも力をお借りし、読み聞かせや音楽活動・体育活動を通して、数年にわたり取り組んできた成果が感じられる。

これからも、子どもたちの瞳がきらきら輝くような学習をますます展開したい。

先生の指導力向上は？

昨年度に比べて、どの項目についてもA評価がアップしている。特に特別支援教育・情報教育・研究・研修については、高い評価である。経験の多い少ないにかかわらず、教育目標達成に向けて取り組もうという意識が感じられた一年間であり、さらなる向上をめざしたい。

30周年にむけて

30周年の前年度であり、まだ、具体的な取り組みが見えない段階での評価であり妥当なところであると思う。しかし、学校評価や安心安全についての評価が低いような気がする。マンネリ化しなように取り組み方を工夫し、ふりかえりをしっかりして、心新たにに取り組んでいきたい。